

むさしNet

(発行)

*働きやすい職場をめざす

(連絡先) ルネサス武蔵の会

*東村山市恩多町3-11-18 谷口利男

*電話・FAX ; 042-394-0937

*メール; musashinet@jcom.home.ne.jp

*要望・意見を気軽にお寄せ下さい。

労基署の指導を受けて 労働時間管理の徹底を

深夜勤務の実態

むさしNetは、06年12月号で武蔵事業所の長時間勤務の実態調査を行ない、深夜にはほぼ全館照明となっている現実を写真付きで報道し、改善を訴えました。職場内では、労使で労働時間の縮減のために一斉定

時退勤日の徹底、産業医の拡充などの取り組みが行なわれてきました。

残業時間の実態

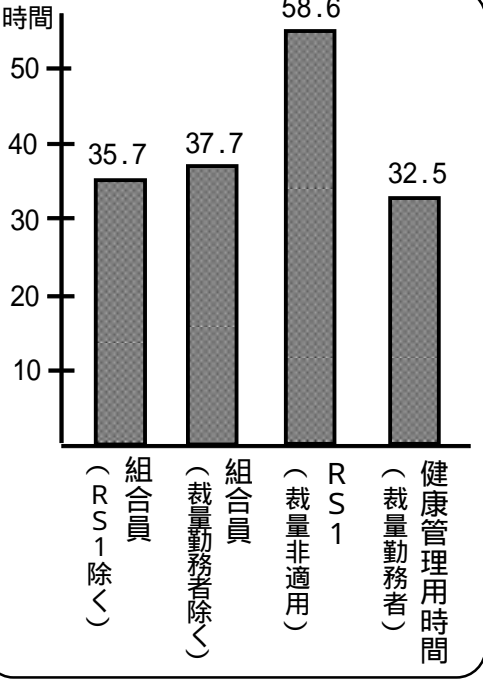
ルネサス労組武蔵支部の第二回定期大会議案書の「資料編」に06年度(06年4月~07年3月)労働時間・休暇に関する報告が詳細に

されています。

その中で、平均時間外労働および平均健康管理用時間を左上にグラフ化した。日本社会は、労働基準法で一日8時間労働が原則になっています。

労基署の定期監査

労基署の定期監査で休出や深夜の入室記録と勤休登録に差異が指摘されたとのことで職場内では「会社からの勤休管理適正化の通達」は労基署の指導によるものなので、休出時や残業はきちんとつけるように」と話されています。労使で過重労働対策を話している時期でもあり、労基署の指摘を実施するためにも有効な施策で長時間労働を縮減させましょう。



集積回路

*「日経」新聞は首都圏に住む二十代の若者を対象に6月下旬から7月上旬にインターネットで実施したアンケート結果を8月22日付けで報道しました。それによると、「多くの若者は、車を買わず、酒もあまり飲まない。休日には自宅で過ごし、無駄な支出は嫌いで、貯蓄意欲が高い」としています。意識の大きな変化が見られたのは車への関心で、2000年との比較では「車を持つている」では、23・6%から13・0%に低下、「車が欲しい」人の割合も48・2%から25・3%に急落をしている、と報道されています。こうした結果をどのように感じられるでしょうか？

大会に職場問題を反映

武蔵支部定期大会

ルネサス労組武蔵支部「第二回定期大会」は、8月3日(金)午後開催されました。

会場は武蔵事業所の大会議室でした。

ルネサス労組本部荒井中央書記長は「07春闘の500円の扱いは、09年改訂時まで配分方法を検討したい」さらに「福利厚生制度も再検討する」と考えが表明されました。

8項目の質疑が

要望意見は5名の代

議員が発言をしました。

質疑のポイントは、

「他社では年休を金に替えていると聞くが」に

対して「金に替える事はしない。ワークライフバランスを取り組む」

「賃金カーブがなく将来展望が見えない」に

対して「スキルをあげることで賃金があがる制度である」

「仕事の実績に見合った昇格がない」に

対して「管理者に納得できる説明を求めてほしい。組合も取り組んでいる」

「再雇用者が増加する方向であり組合員化を求め」に

対して「将来的には組合員にする」

「07春闘の500円を賃金に組み入れを」に

対して「中央の処遇委員会で検討をする」

「総合職の扶養手当が支給されていないので実状に合わせて支給を」に

対して「今後検討をする」

「メンタル問題が急増しており職場段階の対策が必要」に

対して「組合も重視している。職場環境・長時間労働の削減に取り組む」

「長時間労働を削減させるためには人員増が必要」に

対して「各種協議会で言っており引き続き取り組む」

との内容でした。

最先端45ナノ システムLSI量産開始へ

8月22日付「日経」は、次の内容の報道を行いました。

半導体大手がデジタル家電の頭脳に当たるシステムLSIの最先端品を一斉に量産する。ルネサステクノロジとNECエレクトロニクスが市場に出回っている回路線幅65ナノより微細な45ナノ製品の量産を08年度以降に始める。

先行している松下電器、08年度以降の量産を決めている東芝、富士通を加えた5社が先端品の量産体制に入ること、家電の高性能化が加速する。

システムLSIは、半導体チップにC

PU(中央演算処理装置)や保存用メモリーをまとめて搭載した半導体。薄型テレビや携帯電話など幅広いデジタル家電に組み込まれる。回路線幅が狭くなれば、消費電力が下がると同時にチップ面積が小さくなり、搭載機器の省エネ・小型化が進む。

松下電器は、今年6月に世界で初めて量産を始めた。ルネサスは那珂第二工場です。08年度中に量産に入る。と報道しています。

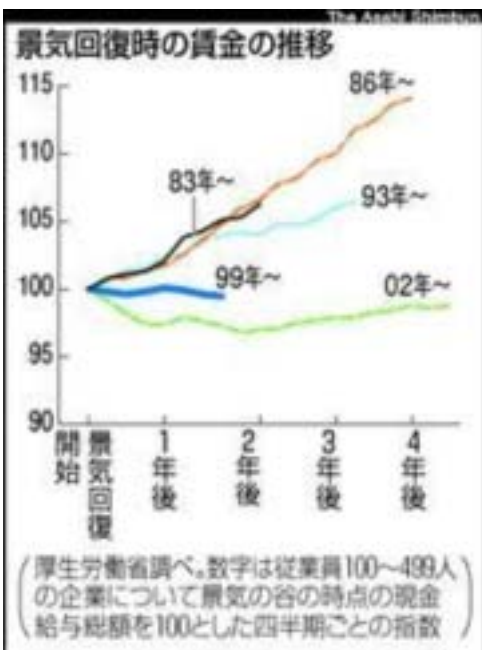
経営問題もしっかりと掌握をして諸問題に活かしていきたいと思います。

生産性は上昇、賃金は低下

労働経済白書07年版

戦後最長におよぶ景気回復とは裏腹に、実質賃金は減り、労働時間も延びるなど労働環境が改善されていない実態が、厚生労働省が8月3日発表した07年版「労働経済の分析」（労働経済白書）でわかった。

白書は非正規雇用や成果主義、裁量労働制などの拡大を原因と



0人以上の大企業でも0・3%増でほぼ横ばい。100人中499人の中堅企業では1・2%減、5人未満の規模企業は5・3%減

して指摘。業績回復の果実が労働者にも行き渡るよう、新たな成果配分の仕組みが必要だと訴えている。今回の白書は、ワークライフバランス（仕事と生活の調和）を主題に分析。賃金面では、80年代や90年代の景気回復期と、02年からの今回の景気回復とで賃金上昇率を比較した。

今回の景気回復では、景気の谷だった02年第1四半期に比べ、06年第4四半期の賃金は従業員50

と、むしろ悪化した。物価上昇率を反映した06年平均の実質賃金は、前年に比べ0・1%減った。

これに対し、80年代の景気回復は小規模企業のデータがないが、大手や中堅でみると、83年第1四半期からの回復時は賃金が9・1～5・0%上昇。

86年第4四半期からの回復期には、18・7～14・1%増えた。93年第4四半期からは8・4～3・9%増だった。

成果主義賃金も影響

こうした現状について白書は、非正社員の増加や労働組合の組織率の低下などで「経済成長と労働生産性の上昇を労働条件の改善につなげる従来のメカニズムが働きにくくなった」と分析。成果主義賃金や裁量労働制などの導入で

休憩室

安倍改造内閣発足

「人心一新」といつているが本人が居直ってはいはねえ

朝青龍問題

追っかけすぎ？

干渉のしすぎ？

モンゴルに帰って治療？

「（企業が）労働者が抱える仕事の状況を把握することが難しくなり、結果として特定の人々に長時間労働を集中させる傾向を生み出している」とした。そのうえで、ワークライフバランスの実現には「成果配分のあり方を、一人ひとりの働き方に応じたものへと見直すことが重要だ」と結論づけた。

と分析をしていますが、皆さんの実感は如何でしょうか？しっかりと考えたいものです。

職場だより

第53回日本母親大会に参加

8月25日・26日、日本母親大会が東京・埼玉で開催されました。25日は芝公園から日比谷公園まで4000人が参加しての母親大パレード。26日は4つの問題別集会。平和と民主主義「いま、世

17年ぶりに需要調整

今年の夏は猛暑で家庭生活でも大変な状況でした。東京電力の最大電力が8月22日、6147万キロワットと、2日連続で今夏一番の電力需要を更新した。東電はあらかじめ合意している工場など23件の大口需要家への電力供給を一時的に絞り込む措置を17年ぶりにとった。料金を割引く代わりに受給逼迫の際、優先的に電気の使用を減らしてもらう「随時調整契約」と呼ばれるものです。(T)

界のなかで9条は輝く」に参加してきました。パネルディスカッションで植野妙実子さん(中央大学教授)は「憲法は人民の側が権力を縛るもの。今憲法を変えようとしている人達は逆に権力で国民に義務を負わせようとしている」と指摘しました。西野瑠美子さん(パウネットジャパン)は「最近の日本は過去の戦争を正しなかったとか従軍慰安婦はなかったなど歴史を正しく見ない発言が

されている。ドイツでは歴史を偽る発言をするとそれは犯罪になる」と発言しました。イラクから来ている男性が、「9条は世界の宝です。絶対に変えさせないでください」と会場発言をしました。生命を生み出す母親は、生命を育てる生命を守ることをのぞみます H

ビアガーデンで職場交流

7月27日(金)から8月3日(金)までの平日の6日間、ルネサス武蔵事業所内で日京クリエイトによるビアガーデンが開催されました。

雨のために開催できない日もありましたが、毎日午後5時半から9時までの間、武蔵事業所内の敷地を利用して行なわれ

絵手紙でご挨拶



ました。開始時間直後はさすがに人もまばらでしたが、夕暮れとなる7時をまわると人も増え、用意した座席も足りない程の盛況ぶりでした。屋外で職場の人たちと飲めるのもまた楽しいものです。会場が久しぶりに見かける知り合いも多く、社内のコミュニケーションに役かっていたのではないかと思います。(K)

編集後記

日程の都合で8月の発行を初めて休ませて頂いた。職場では労働時間管理の徹底が言われているが、設計職場などでは、パソコンのON・OFFで自動的に集計するようにして、実際の労働時間を反映させる事が必要だと考える。(T)